

きたい。

庁内体制については、公団や県との連携を図るため企画部、産業部、建設部をはじめとする関係部課により連絡調整する組織をつくり、スムーズな事業進捗を図っていききたい。

また、独立した対策室については進捗度、必要度等十分に検討して決して時期を失することのないよう対応させていただきます。

福祉・医療

Q 市長は老人保健施設は医療に関わる分野が最も大きく、整備については公立小浜病院の事業として設置するのが適切であり、組合加入の3市町村、公立小浜病院の4者の合意による整備に努力したいと公約されてきた。

2年の年月をかけ地域の中核病院としての改修が完成した。その間にあった4者間の折衝とその中身、今後の取り組みについて伺いたい。

A 小浜市高齢者保健福祉計画小浜21コスモスプランの中に嶺南地域を利用圏域とする施設を整備するため小浜市に定員50人の老人保健

施設の整備目標を掲げている。

組合加入の3市町村と公立小浜病院の4者が合意して建設することが第一条件であり現在4者の事務レベルで建設に向けての話し合いを行っている。今後4者の長による基本的な面での話し合いを行い、早期に老人保健施設の整備に向けてさらに努力してまいりたいと考えている。

Q 高齢者が住み慣れた地域で余生を過ごすため、訪問看護などの在宅医療サービスは、ヘルパーによる介護とともに在宅福祉の両輪である。

小浜市は、共働き家庭が多く、しかも高齢者比率が非常に高い要介護者を抱えながら困っている家庭は少なくない。こうした現状に対しての見解をお伺いする。

A 次に僻地医療対策について、現在2地区が無医地区に指定されているが、僻地医療対策指定地域の拡大計画はないか。現在のところ訪問看護を実施している医療機関はない。しかし、今後増える予想される在宅の寝たきり老人等に対し看護サービスを提供することにより、生活

の質の確保と日常生活の維持から在宅医療の推進を図っていききたい。

老人保健施設に併設した老人訪問看護ステーションを設置し、介護を必要とする老人が安心して療養生活が送れるよう設置に向け努力していく。僻地医療対策について、無医地区の条件に該当する地区が3地区あり、宮川地区は県に要望中であり、他の地区については、県及び僻地中核病院等に協議検討していきたい。

いじめ問題

Q いじめ問題は、学校、家庭、社会が総合的に取り組まなければならないことはいまさら申し上げる必要はないが、文部省の専門会議、いじめ対策緊急会議において全国の学校に総点検を求める緊急アピールをまともしました。

この緊急アピールをどう受け止め対応していくのか、そして本市において今日までいじめの問題にどう取り組んできたのか、現在不登校生は何人いるのかお尋ねします。

A いじめ問題の取り組みについて、第1に学校内外においていじめの問題が

存在するということを前提に学校挙げて総点検する。

第2に児童・生徒に対し、いじめは重大な人権侵害であり、命にかかわるといふことの認識を徹底させる。

第3に教師は、児童・生徒をはじめ保護者との信頼関係を深めると共に、的確に対応していくこと。

第4に日頃の子供の生活態度を見直し、問題根絶に向けて地域ぐるみの対策に務める。以上が市教育委員会の対応であります。

登校拒否の現在の状況は、長欠児童は、30日以上50日未満が小学校で5名、中学校で7名であります。登校拒否は中学校で3名となっている。

Q 小浜市内における小・中学校のいじめについて、その現状、過去をも含めて数字で示して欲しい。

また、そのいじめの内容について当然分析されていると思うが、その結果を示して欲しい。

さらに教育委員会が防止を目的として講じた対策を聞かせて欲しい。

A 小浜市においては現時点においては悪質ないじめはない。小さなものは7

件ほどあったが、皆解消している。

平成5年度については、小学校で3件、中学校で1件あった。その内容は、仲間はずれ型、冷やかashi型等となっている。

対策については、1番目は市校長会を開催して総点検を指示した。2番目は、中学校に出向き特別に指示した。

3番目は各学校の指導体制の充実を図るようにした。4番目は、集落PTAを開催していじめについての話し合いをもっていた。

独立中小都市

Q 国土庁が人口10万人以下の地方中小都市を地域の核となるミニ拠点都市に育てるため、都市整備の新支援策を設ける方針を決め、福井県では敦賀市、小浜市圏が該当すると新聞に報じられていたが、その後何らかの進展があったのかどうかお伺いする。

A 独立中小都市いわゆるミニ拠点都市については、第1に中心都市の人口がおおむね10万人以下であること、第2に地方中枢中核都市

から1時間以上の交通距離に位置すること、第3に中心市や周辺市町村と一体的な生活圏域を構成している地域を対象に支援を行うというものである。

今年度から全国2か所のモデル市町村を選択し、調査研究を行っている。

今後独立中小都市圏が制度化されたときは、本市としても県及び周辺自治体と十分な連携を図り、その可能性について調査検討を行い積極的に取り組んでいきたい。

総合運動場

Q 小浜市総合運動場について、この施設の管理運営に携わる職員は施設長を含め何名ぐらい配置を予定しているのか。その職員は市の職員か、それとも体育関係に携わってこられた方を嘱託として雇用するのかお聞きする。

A 人員配置については、体育課所管のもとに管理所長と若干名の配置を検討している。

なお、常時体育関係の指導

者を置くかどうかについては今後の課題であると思う。

次に、総合運動場の清掃、維持管理については、今のところ管理公社とシルバー人材センターに委託の方法を考えている。また、夜間の業務管理についても委託を検討している。

農政

Q ①政府は平成7年より12年までの6年間で国内農業政策を打ち出した。そこで新しい局面を迎えた状況の中で、本市の農政をどうかじ取りしていくのか。

②平成7年度における生産調整、いわゆる減反の動向とその対応について、減反面積はどのぐらいか、確定時期はいつか、作付面積をどのように指導していくのか。

③小浜有機米に対する市の取り組みについて、小浜市農協では、平成7年度より小浜有機米の生産に取り組むとのことであるが、本市においても消費者ニーズに対応した良食味米の生産を推進するとある。有機米をどう位置づけるのか。

A ①国は農業関連対策として、新規就農の促進

農業生産基盤整備の重点的・加速的推進等の対策を図ろうとしている。具体的な内容が明確になり次第本市としても高生産性大区画圃場や農業用水の確保と水路整備、また農道整備などについて推進していきたい。

②転作に対する基本的な考え方として、生産調整の規模に左右されない転作を定着させることが急務となっており高収益性の定着性転作として水田園芸を積極的かつ計画的に推進していきたい。今後、国・県の動向を十分見極めながら作付奨励、栽培用機械等の整備充実を務めていきたい。

③近年米の消費指向は、おいしい米、安全な米を求め、声が高い。このことから環境調和型農業の展開として国が認定した特別表示米、いわゆる有機米の栽培を推進し、付加価値を高める中で小浜米のブランド化を図っていきたい。平成7年度は50ヘクタール程度の栽培を見込んでいる。

海浜小公園

Q 小浜ロジック前につくられる海浜小公園整備事業について、この事業はふる

さと創生事業の一環として位置付けられ、噴水花時計が計画されていると聞いているが、用地造成後の具体的な計画を改めてお聞きしたい。

A 海浜小公園整備事業はアイデア募集で金賞に選ばれた花時計&噴水をモチーフに整備するもので、今年度は県の海岸環境整備事業の進捗に合わせて用地造成を行っている。平成7年度に調査計を行い、平成8・9年度に市民の憩いの場としてゆとりと潤いのある小公園を建設したいと考えている。具体的な整備については、マーメイドテラスやマウンドアップなどとの整合性を図るため、いろいろな意見を賜り、周辺環境とマッチしたものを再検討したいと考えている。

県立大学グラウンド

Q 県立大学小浜キャンパスのグラウンドの整備工事が行われていますが、完成後の市民の利用はどのようなのか。

A このスポーツ広場については、現在市の所有

となっており、平成3年6月県と市の間で使用に関する契約を結び、授業、クラブ活動その他大学の行事等に優先的に大学が使用することを承諾している。

市民の利用については、県立大学が地域と密着した開かれた大学という理念もあり、大学に支障のない限り利用できるような調整を図りたい。

野球場

Q 市民野球場について、立派な施設であり、毎年多くの若者がナイター野球を楽しんでいますし、これからもまだまだ使われるものと思うが、照明が暗い。あと2基増設できないか。

A 市営野球場は昭和55年に完成して以来多くの愛好家に利用していただいている。

現在照明灯は内野2基、外野2基設置されている。

2基の増設については陳情書を提出したが、難しく、他に有利な補助制度等がないか検討している。いづれにしても利用者に満足していただける方法を調査し、改善に向かって努力していく。

人事

教育委員会委員

北村宗一氏

加斗財産区管理会委員

田中 進・家山茂松

平井 男・藤田 茂

森下幹雄・木村光雄

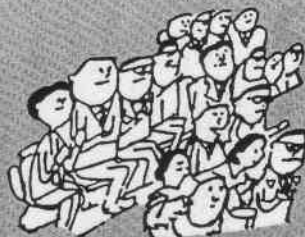
松井利夫

平成7年 第1回定例会

平成7年第1回定例会は、
3月7日から3月22日まで
開催の予定です。

**本会議を
傍聴しませんか!?**

— 手続きは簡単です —



くわしいことは市議会事務局へ
☎53-1111(内線511~3)

傍聴席は約40席あります。
また体の不自由な人のため、
車いすでそのまま傍聴できる
席もあります。

行政視察

行政視察受入

1月31日

愛知県東海市議会
3人

管外行政視察

◆福祉対策委員会

2月7日～8日

愛知県安城市
半田市

◆環境対策委員会

2月8日～9日

愛知県碧南市
三重県上野市

阪神大震災

被災地の皆様に心より

お見舞い申し上げます。

議員一同で三十万円の義援金を

送らせていただきました。